

東北の自立的復興を実現する、人づくり、街づくり、産業づくり

東北未来創造イニシアティブ 首都圏・被災地全域対象

インキュベーション・プログラム 募集要項

東北未来創造イニシアティブ－社団法人東北ニュービジネス協議会－
内閣府・復興支援型地域社会雇用創造事業

1. 東北未来創造イニシアティブとは

◆ 主催者からのご挨拶

東北未来創造イニシアティブは、私ども東北ニュービジネス協議会ならびに東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センターが主催者となり、地域毎にセクターを超えた各団体と包括的に連携・協働しながら、地域に必要な起業家精神をもった人材を育み、事業と雇用を創造することで、東北の東北の手による自立的復興を実現せんとする取組みです。そして、このクロスセクター協働の革新的な取組みで地域社会の課題解決に向けたイノベーションを創発することで、この東北から日本の新しい未来を創造・発信せんとする5年間にわたる挑戦です。

繰返しになりますが、キーワードは、

「支援から自立」、「起業家精神」、「クロスセクター協働」、「イノベーション(革新)」、「東北の手による東北再生」です。

具体的には、仙台にイニシアティブの統括事務局を置きながら、釜石/北上、気仙沼、石巻、仙台、福島等の5カ所に サテライト拠点を置くことで被災地全体をカバーし、地域に根差した体制を構築します。そして、各地域において、行政・企業・経済団体・大学・NPO団体等と密接に連携しながらその強みを持ち寄り、地域に必要な人づくり、街づくり、事業創造、ひいては新産業創造に取り組めます。加えて、東京に連携オフィスを設置し、首都圏の企業を中心とした全国の多様な人脈とリソースを当イニシアティブに振り向けます。

私たちは、復興の鍵は『人』だと考えており、私たちの人材育成の特長は、「多様なスペシャリストによる、きめ細やかな個別メンタリング」と、「集合型で相互触発・切磋琢磨が出来る良質な場の提供」にあります。ここでは、私たちのもつ地域ネットワークと、全国の人材ネットワークが大きな強みとなるでしょうし、その中で皆さんと共に自律的復興を志し、そして行動する同志たちとの出会いと大きな学びがあるでしょう。

私たちと共に、東北の自立的復興と未来創造に挑戦いただける方からのご応募を、心よりお待ちしております。

東北未来創造イニシアティブ 代表発起人

大滝 精一
東北大学大学院経済学研究科長/経済学部長



大滝 精一

大山 健太郎
東北ニュービジネス協議会会長
アイリスオーヤマ株式会社代表取締役社長



大山 健太郎

◆ 中核発起人

- ☆浅倉俊一 (株)ダイユーエイト 代表取締役社長
- ☆池田弘 (公)日本ニュービジネス協議会連合会会長
- ☆石川治江 (特)ケア・センターやわらぎ 代表理事
- ☆北城恪太郎 日本アイ・ビー・エム(株)最高顧問
- ☆小宮山宏 (株)三菱総合研究所 理事長、東京大学総長顧問
- ☆高橋 真裕 (株)岩手銀行 代表取締役頭取
- ☆米谷春夫 (株)マイヤ 代表取締役社長
- ☆増田寛也 (株)野村総合研究所 顧問、前岩手県知事
- ☆松田昌士 東日本旅客鉄道(株) 顧問

◆ イニシアティブ体制

主催： 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター、 社団法人東北ニュービジネス協議会

- 地域共催：
- <岩手・釜石> NPO 法人いわて連携復興センター
 - <宮城・気仙沼> 気仙沼市、気仙沼商工会議所
 - <宮城・仙台> NPO 法人せんだい・みやぎNPOセンター
 - <宮城・石巻> 石巻専修大学、石巻信用金庫
 - <福島・福島> 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、立教大学、一般社団法人ふくしま連携復興センター
 - <東京リエゾン> NPO 法人アイ・エス・エル

協力：(公)日本ニュービジネス協議会、(公)日本青年会議所、(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

特別協力：公益社団法人経済同友会 東北未来創造イニシアティブ協働プロジェクトチーム

2. 2012年度 インキュベーション・プログラム概要

◆ 私たちのプログラムの特長

東北未来創造イニシアティブは、2012年度においては、内閣府の復興支援型地域社会雇用創造事業に参加し、インキュベーション・プログラムを展開します。新たな未来を切り拓く起業家人材を、釜石/北上地区、気仙沼地区、仙台地区、石巻地区、福島地区の5つの地域サテライトで実施する起業プランコンペティションで発掘し、そこで選出された方々と起業支援契約を締結させていただきます。そして約半年の期間、個別メンタリング、相互触発の場の提供、支援者とのマッチング等を中心とした、起業に至るまでのきめ細やかなサポートを提供します。

【起業支援対象者への支援内容】

① 『きめ細やかな個別メンタリング』

- ・半年間にわたり、皆様のプランをブラッシュアップするのに必要なメンターを個別に宛がい、個別指導、必要な支援者との引き合わせ等を行います。メンターは、地域企業の経営者、中小企業診断士、地域市民団体の中核スタッフ等で構成し、加えて場合により、必要領域のスペシャリストとも会っていただきます。

② 『相互触発と切磋琢磨の良質な場の提供』

- ・個別のメンタリングでは補いきれない、相互触発と切磋琢磨の場の提供を行います。定期的に東北大学の片平キャンパスに集まっていただき、自分以外の起業家との対話、スペシャリストへの相談、潜在的支援者との交流をしながら、刺激を受け、起業に向けての鋭気とスキルを養っていただきます。

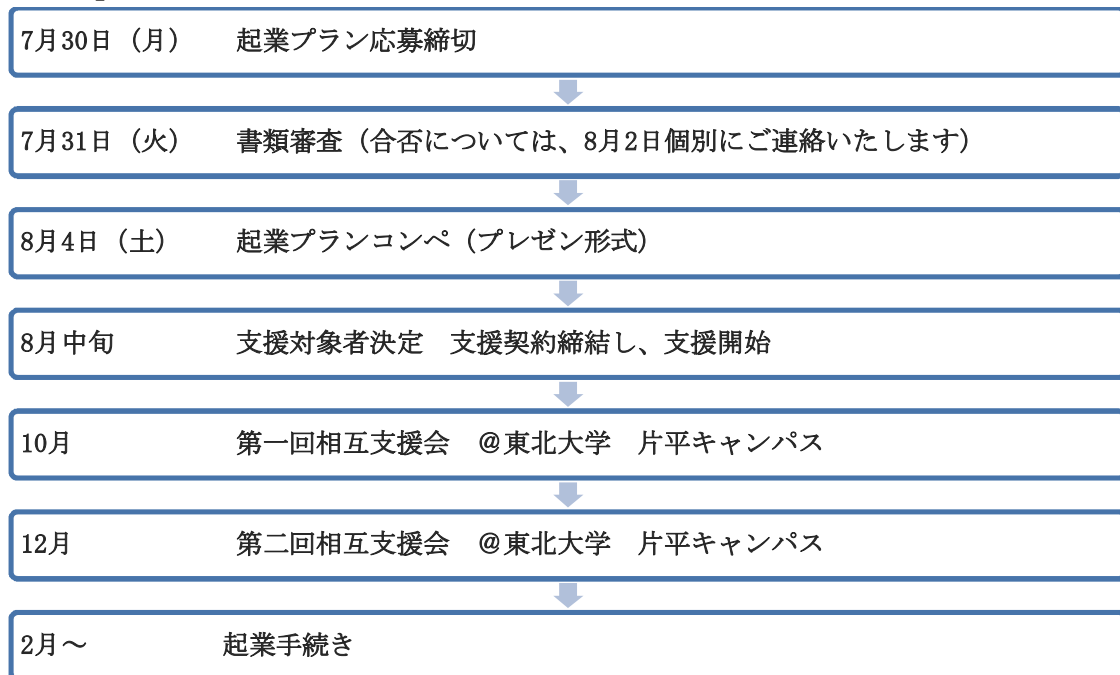
③ 『最大238万円の起業支援金提供』

- ・内閣府からの助成金を用いて上記サポートをするのに加え、最大238万円の起業支援金を提供し、起業に必要な費用（起業時の人件費、事務所費、備品、相互支援会参加の交通費等）のサポートをします。

④ 『全国の起業家、企業経営者との交流』

- ・東北の地元経営者、地域の行政のみならず、イニシアティブの持つ全国のネットワークにより、ビジネスの第一線で活躍する全国の経営プロフェッショナルやたくさんの経験を積んだ先輩起業家など、各分野で志をもって奮闘している有志との交流の機会を提供します。

【年間スケジュール】



3. 起業プラン コンペティション概要

◆ コンペティション開催概要

書類(履歴書及び職務経歴書、エントリーシート)により応募いただいた方の中から、一次選考として書類審査を行い、通過された方に地域ごとに行われるコンペティションに参加いただき、プレゼンテーションをしていただきます。

首都圏・被災地全域対象 起業プランコンペティション開催概要

◆ 募集期間

平成 24 年 7 月 7 日(土)～7 月 30 日(月) 12:00 まで

◆ 起業プランコンペ

日時: 平成 24 年 8 月 4 日(土) 13:00～17:00

会場: 東北大学 ※詳細は対象者に追ってご連絡します。

◆ 起業支援対象者の決定

起業支援対象者 7 名を決定し、個別に支援契約を締結します。

◆ コンペ応募資格

- ・2012 年度内に起業する意思のある方(既に対象のプランを目的として起業されている方は不可)
- ・起業プランコンペティション当日に参加できる方
- ・現在、他の「起業に向けた助成金や支援プログラム」を受けていない方
- ・公務員でない方
- ・18 歳以上の方(高校生不可)

◆ 対象となるプラン

- ・ビジネスの手法を使い、東北の復興に繋がるプランであること
- ・東北において雇用を創出するプランであること
- ・新規の事業プランであること(既存事業の単なる立て直しは対象となりません)
※企業に在籍されている方、ならびにNPO等の法人を立ち上げられている方の、所謂、企業内起業につきましては、その事業が、新しい部署の新設や、定款の変更、または役員会やそれに準ずる公式な意思決定機関の決議により、それが新規事業であるという証左をもって支援対象とされます。
- ・建築・土木事業にあたらぬこと
- ・現在および過去に他の「起業に向けた助成金や支援プログラム」を受けていないプランであること

◆ 審査基準

- ・5 つの基準を基に総合的に判断いたします。
 - ア 社会性(地域における課題の重要度合、事業が地域全体へ及ぼすインパクト)
 - イ 新規性(革新性、スケーラビリティがあるか)
 - ウ 事業性(実現可能性があるか、持続可能なビジネスモデルであるか)
 - エ 雇用創出効果(短期的、中長期的に雇用を生み出すものか)
 - オ 人間性(起業家として、人々の共感や信頼を獲得できるか)

◆ 応募方法

- ・提出物: ①履歴書および職務経歴書 ②エントリーシート(ダウンロード先 <http://www.tohokumirai.jp>)
- ・提出方法: 以下宛に、E-mail にてご提出ください。
zeniki@tohoku-mirai.net
東北ニュービジネス協議会「東北未来創造イニシアティブ 仙台統括事務局」
- ・締切: 平成 24 年 7 月 30 日 12:00 必着

・問い合わせ先：東北ニュービジネス協議会

「東北未来創造イニシアティブ／仙台統括事務局 起業プランコンペティション」事務局 担当：大友

電話：022-261-5817

HP：<http://www.tohokumirai.jp>

以上